

化粧品でトラブルが起こる2大原因とは

この世に一人しかいない自分を輝かせて生きるためには、お化粧品は欠かせないものです。実際、メイクがきまると、幸せな気持ちで一日をスタートできるのではないのでしょうか。

ところが残念なことに、使っている化粧品が肌に合わず、肌にトラブルが起こってしまうケースが少なくありません。これしかないと思っ使用し始めた化粧品によってかぶれたり、肌がピリピリして赤くはれたり、あるいは湿しんや吹き出物が出たりと悩まされているのです。では、なぜそうしたトラブルが起こっているのでしょうか。

その一つに、アレルギー性の接触性皮膚炎が挙げられます。

人間の体は、体の外から入ってきた異物(抗原)に対して抗体を作り出して結合し、無害化する力を持っています。これを抗原抗体反応といひ、体に有益な方向に働く場合、これを免疫力といひます。体内に入ってきた細菌やウイルスをやっつけるのはこのケースです。

しかし、この反応が過敏すぎるあ

安心・安価な
手作りコスメは
肌トラブルを解消し
美人を作る
必須アイテム

衣理クリニック院長
片桐衣理

まり、逆に体に悪影響を及ぼす方向に働く場合があります。これがアレルギー反応です。

アレルギー性の接触性皮膚炎は、この抗原抗体反応が皮膚表面に出たきたケースです。

化粧品の場合、高い確率で抗原になりうる材料として、保存料、香料、色素、保湿剤などの石油系化学物質がたいてい含まれています。

ただし、自然由来の材料でも、材料そのものが変質しやすいものや、誤ったつけ方によって抗原になりうる場合もあります。

同じ物質でも、それが抗原となりやすい人となりにくい人がいるのも事実です。

個人差はありますが、次のような人に抗原抗体反応が起こりやすいことがわかっています。

- ・乾燥性の皮膚炎を起こして皮膚のバリア機能が衰えている人
- ・アトピー性皮膚炎のように、肌のいちばん表面の角質に代謝異常を起こしている人

- ・アレルギーの素因のある人

症状としてはカサつき、発赤、かゆみ、痛み、ただれなどです。

もう一つは刺激性の肌荒れです。

この場合は急性の症状ですから、二次的な反応であるアレルギー性の接触性皮膚炎に比べ、強い症状が出ることもままあります。症状は、アレルギー性の場合とほぼ同じと思っください。

このほか化粧品が肌のトラブルを起こす原因に、誤った使い方があります。例えば、長時間つけっ放しにしていたり、肌にかぶれやただれがあるのに化粧品を使い続けたりするケースです。

市販品は原料原価の10倍という説もある

そこで、最近、一部の女性の間で話題になっているのが手作りコスメです。

トラブル肌の女性は、自分の肌に合わせてのとなかなか出会えず、化粧品に対していろいろな不満を持っています。そうした女性が天然の素材を使っ手作りし、自分の肌に合わせて自分だけのスペシャルアイテムを手に入れること——それが手作りコスメです。

例えばオイルならハチの巣から精製した物、粉類なら鉱石や滑石を粉末にした物や絹から抽出したシルク



かたぎり えり 帝京大学医学部卒業後、ノエル船堀クリニック院長等を経て、2002年より現職。体の中からの皮膚への影響を重視し、内科医の視点から皮膚科治療にも取り組んでいる。2003年度より日本抗加齢医学会の評議員。